

計画的に取り組み進めているかを評価する。また、学期末に複数の教員による口頭諮問を行い、合議によって評価する。

授業科目名	特別活動論 A, B	担当形態	単独		
		開講学期	春・秋		
担当教員	柴田 篤志	単位	2	年次	3
教職免許					
科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等					

※教員免許状取得のための授業科目は、ブルーの項目についても記載があります。

＝授業のテーマ及び到達目標＝

特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付けます。

三分野のなかでも特に学級活動に重きを置き、各教科、道徳、総合的な学習の時間などとの関わりを理解した上で以下に特別活動が学校教育の中で中心的な位置にあるかを考えます。

＝履修の条件と学習の方法＝

講義形式です。試験ではなくレポートでの学習評価となります。

＝授業の概要＝

「人間関係形成」・「社会参画」・「自己実現」の三つの視点が、学習指導要領にどのように記載され、扱われているかを理解します。

三つの分野、学級活動、生徒会活動、学校行事のそれぞれがこの三視点とどう関わっているかを指導要領から読み解き、その上でどのように課題を発見し、課題を解決していくのかという方法論について考えます。

＝授業計画＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。教育課程とは。
- 2回 学級活動における人間関係形成（教師と生徒）
- 3回 学級活動における人間関係形成（生徒相互）
- 4回 学級活動における社会参画（学校内活動を中心に）
- 5回 学級活動における社会参画（学校外活動を中心に）
- 6回 学級活動における自己実現（キャリア形成）
- 7回 学級活動における社会参画（ガイダンス・カウンセリング）
- 8回 生徒会活動、学校行事における社会参画
- 9回 生徒会活動、学校行事における自己実現
- 10回 生徒会活動、学校行事における人間関係形成（異学年間）
- 11回 生徒会活動、学校行事における人間関係形成性（地域社会や家庭）
- 12回 生徒会活動、学校行事における評価の在り方
- 13回 生徒会活動、学校行事における合意の形成方法
- 14回 特別活動の指導と地域社会との連携
- 15回 まとめ（評価方法と話し合いのモデル）

=テキスト（必携）=

学習指導要領・特別活動編（文部科学省）

=参考書・参考資料（必携）=

学習指導要領解説・特別活動編（文部科学省）

=成績評価の方法と評価の基準=

学習指導要領の記述内容を、「解説の助けを借りず」読み解けることがレポート作成の条件となります。

=その他=

テキストは必携ですが、授業内でもプリントとして配布しますので、書き込みは配布物の方をお願いします。指導要領は、書き込みのないものを各自で読み込んで下さい。